

第6 非行等の諸形態

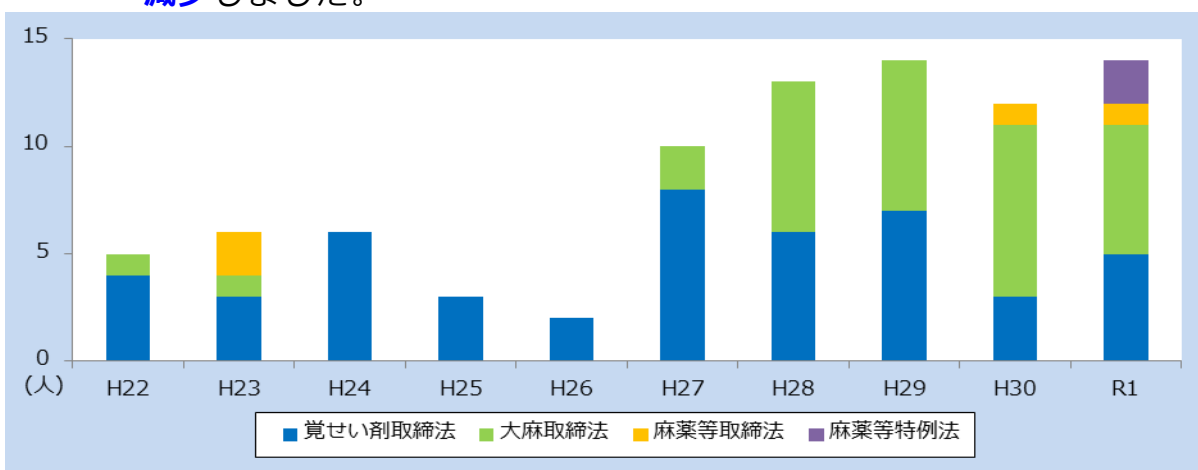
POINT!

- 薬物事犯で検挙された少年の**64.3%**が19歳
- 少年の交通違反は**2,561**件で、平成24年に比べ**半減**
- 校内暴力は18件で、過去10年間で最も多かった平成25年の約1/5まで減少
- 不良行為少年は**9,455**人で、前年から64人(0.7%) **増加**

1 少年の薬物事犯

(1) 検挙人員の推移

- 大麻取締法などの薬物事犯で検挙された少年は14人で、前年に比べ2人(16.7%)**増加**しました。
- **大麻取締法違反**で検挙された少年は6人で、前年に比べ2人(25.0%)**減少**しました。



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比	増減率
	薬物事犯検挙人員	5	6	6	3	2	10	13	14	12	14	2
覚せい剤取締法	4	3	6	3	2	8	6	7	3	5	2	66.7%
大麻取締法	1	1	0	0	0	2	7	7	8	6	-2	-25.0%
麻薬等取締法	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	±0	-
麻薬等特例法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	-



改めて知って欲しい **薬物の影響とその怖さ**

薬物は危険で恐ろしいものです。一度でも手を出せば、健康を害し、法的制裁を受けることになり、人生を狂わせます。「やせる」「集中力が増す」等の誘い文句はウソです。**薬物とは絶対に関わってはいけません。**

(2) 学職別検挙状況

- 薬物事犯で検挙された少年は14人で、学職別にみると、高校生2人、その他の学生1人、有職少年9人、無職少年2人でした。
- 薬物事犯のうち、大麻取締法違反で検挙された少年は6人で、学職別にみると、全て有職少年でした。
- 薬物事犯のうち、覚せい剤取締法違反で検挙された少年は5人で、学職別にみると、高校生1人、有職少年3人、無職少年1人でした。

(3) 年齢別検挙状況

- 薬物事犯で検挙された少年を年齢別にみると、19歳が9人で最も多く、全体の64.3%を占め、18歳が4人、16歳が1人でした。
- 薬物事犯のうち、大麻取締法違反で検挙された少年を年齢別にみると、19歳が4人で全体の66.7%を占めました。
- 薬物事犯のうち、覚せい剤取締法違反で検挙された少年を年齢別にみると、19歳が3人、18歳が1人、16歳が1人でした。

大麻は違法薬物です！

～ 正しい知識と断る勇気で、自分の身を守ろう

大麻草



乾燥大麻



大麻に対する間違ったイメージが広まっています！

大麻って…。

- たばこより害が少ない？
- 依存性がない？
- 1回だけなら平気？

正体は？

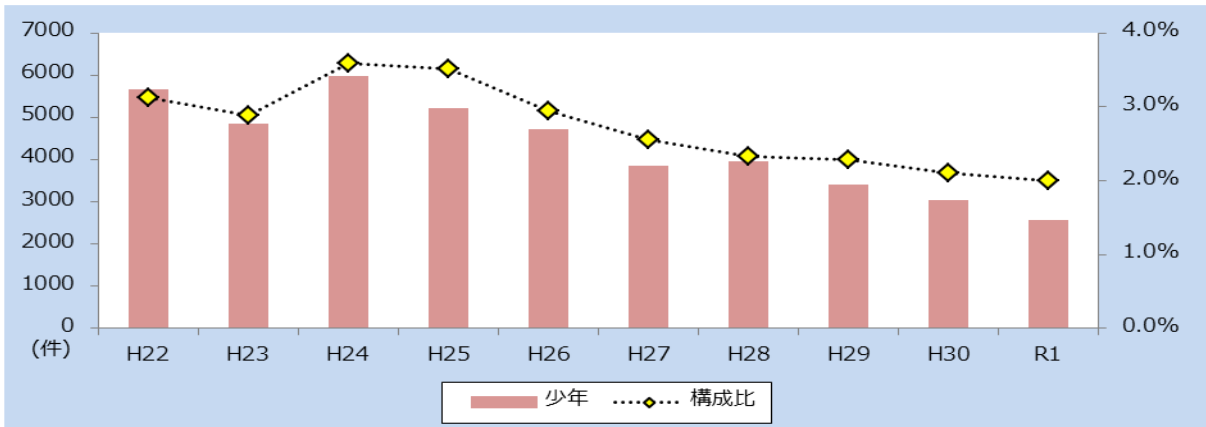
極めて有害な薬物です！

- たばこよりも有害で、脳の正常な成長を妨げる。
- 依存性があり、自分の意志で止めることが困難。
- 幻覚、記憶障害、学習能力の低下、人格の変化などを引き起こす。

2 少年の交通違反

(1) 検挙件数の推移

- 過去10年間に於ける少年の交通違反件数は増減を繰り返しており、令和元年中は2,561件で、前年に比べ486件(16.0%)**減少**しました。
- 交通違反総検挙件数に占める少年の割合(構成比)は2.0%で、前年に比べ0.1ポイント**低下**しました。



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比	増減率
	総数	181,219	168,146	167,115	149,040	159,866	151,214	169,279	148,976	145,016	128,003	-17,013
うち少年	5,670	4,859	5,984	5,227	4,710	3,855	3,951	3,394	3,047	2,561	-486	-16.0%
構成比	3.1%	2.9%	3.6%	3.5%	2.9%	2.5%	2.3%	2.3%	2.1%	2.0%	-0.1P	-

(2) 違反態様別検挙状況

- 違反態様別では、最高速度が802件で最も多く、交通違反で検挙された少年の31.3%を占め、次いで一時不停止が454件で、交通違反で検挙された少年の17.7%を占めました。
- 定員外乗車は51件で、総数の76.1%を少年が占めました。

	総数 (件)			うち少年			構成比
	前年比	増減率		前年比	増減率		
最高速度	27,733	-4,249	-13.3%	802	-163	-16.9%	2.9%
携帯電話保持	31,169	-3,848	-11.0%	339	-30	-8.1%	1.1%
一時不停止	24,150	-349	-1.4%	454	-14	-3.0%	1.9%
信号無視	3,002	-645	-17.7%	122	-37	-23.3%	4.1%
無免許運転	692	-72	-9.4%	60	-15	-20.0%	8.7%
通行区分	6,567	254	4.0%	95	-3	-3.1%	1.4%
踏切不停止	1,300	-725	-35.8%	32	-29	-47.5%	2.5%
整備不良	293	-72	-19.7%	39	-14	-26.4%	13.3%
通行禁止	3,202	13	0.4%	77	5	6.9%	2.4%
定員外乗車	67	-29	-30.2%	51	-19	-27.1%	76.1%
その他	5,402	-378	-6.5%	232	-50	-17.7%	4.3%
点数告知件数	24,426	-6,913	-22.1%	258	-117	-31.2%	1.1%
総数	128,003	-17,013	-11.7%	2,561	-486	-16.0%	-

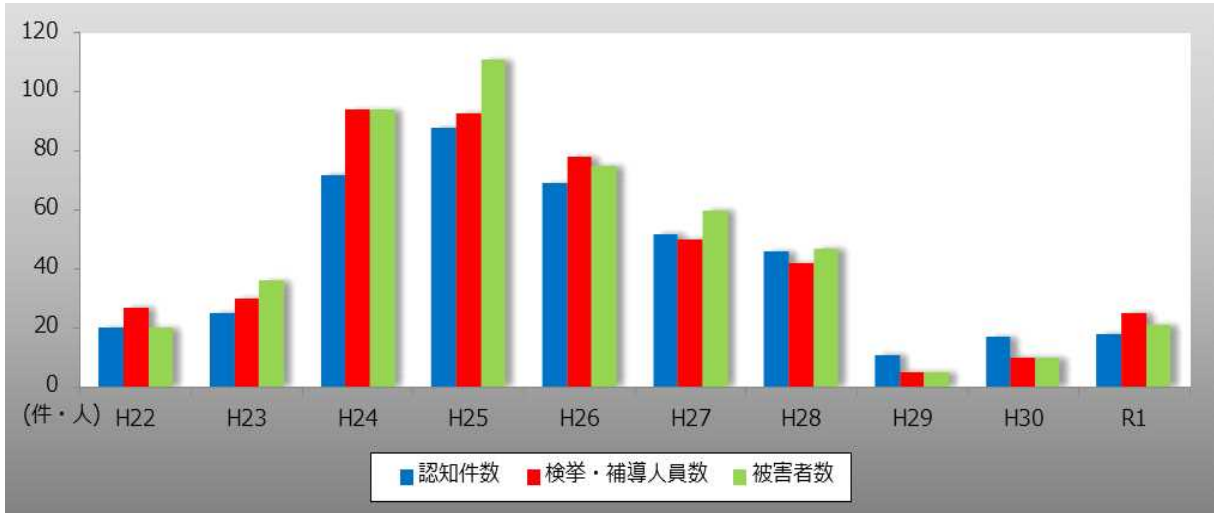
(3) 暴走族少年の検挙状況

- 集団暴走事件(共同危険行為等の禁止)で検挙した暴走族少年は22人で、前年に比べ13人(144.4%)**増加**しました。

3 校内暴力

(1) 推移

警察で認知した校内暴力の件数は、増減を繰り返していますが、令和元年中は18件で、前年に比べ1件(5.9%)増加し、検挙・補導人員は25人、被害者は21人で、いずれも前年に比べて増加しました。



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比	
											前年比	増減率
認知件数	20	25	72	88	69	52	46	11	17	18	1	5.9%
うち小学校	0	0	1	1	2	3	1	1	3	1	-2	-66.7%
うち中学校	20	24	61	78	62	47	40	8	7	15	8	114.3%
うち高校	0	1	10	9	5	2	5	2	7	2	-5	-71.4%
検挙・補導人員	27	30	94	93	78	50	42	5	10	25	15	150.0%
うち小学生	0	0	1	1	3	3	0	1	2	8	6	300.0%
うち中学生	27	29	81	82	68	45	41	3	3	16	13	433.3%
うち高校生	0	1	12	10	7	2	1	1	5	1	-4	-80.0%
被害者の状況	20	36	94	111	75	60	47	5	10	21	11	110.0%
加害者												
うち小学生	0	0	1	1	2	3	1	1	2	2	±0	-
うち中学生	20	35	83	99	67	55	41	3	3	17	14	466.7%
うち高校生	0	1	10	11	6	2	5	1	5	2	-3	-60.0%

(2) 検挙・補導状況

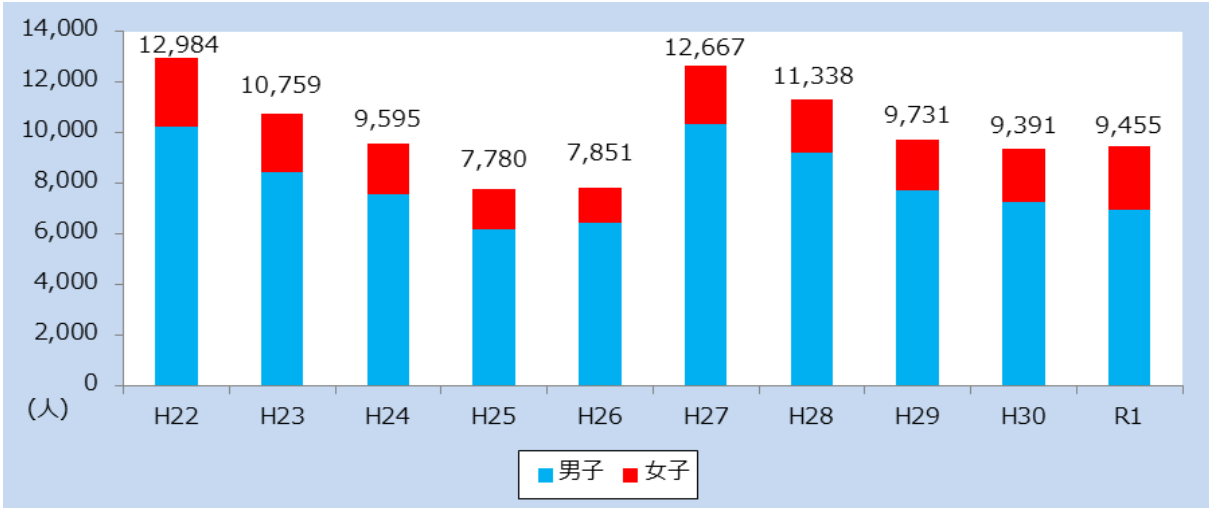
警察で認知(又は相談を受理)した校内暴力にかかる検挙・補導人員は25人で、前年に比べ15人(150.0%)増加しました。

	総数			対教師			生徒間			対施設		
	総数	前年比	増減率	対教師	前年比	増減率	生徒間	前年比	増減率	対施設	前年比	増減率
総数	25	15	150.0%	17	11	183.3%	8	4	100.0%	0	±0	-
うち小学生	8	6	300.0%	8	6	300.0%	0	±0	-	0	±0	-
うち中学生	16	13	433.3%	9	6	200.0%	7	7	-	0	±0	-
うち高校生	1	-4	-80.0%	0	-1	-100.0%	1	-3	-75.0%	0	±0	-

4 不良行為少年

(1) 補導人員の推移

補導人員は、過去10年間増減を繰り返しており、令和元年中は9,455人で、前年に比べ64人(0.7%)増加しました。



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	前年比	増減率
	不良行為少年	12,984	10,759	9,595	7,780	7,851	12,667	11,338	9,731	9,391	9,455	64
うち男子	10,256	8,441	7,558	6,179	6,437	10,363	9,227	7,736	7,266	6,950	-316	-4.3%
うち女子	2,728	2,318	2,037	1,601	1,414	2,304	2,111	1,995	2,125	2,505	380	17.9%

(2) 行為種別・学職別補導状況

- 行為種別では、深夜はいかがいが6,921人で最も多く、全体の73.2%を占め、次いで喫煙が1,377人で全体の14.6%を占めました。深夜はいかがいと喫煙の2行為で全体の87.8%を占めています。
- 学職別では、高校生が4,028人で最も多く、全体の42.6%を占め、次いで有職少年が2,163人で全体の22.9%を占めました。

行為種別	学職別	児童・生徒			その他の学生		有職少年	無職少年	総数	構成比
		未就学	小学生	中学生	高校生	大学生				
飲酒	0	0	8	111	48	19	81	37	304	3.2%
喫煙	0	0	52	574	34	53	453	211	1,377	14.6%
薬物乱用	0	0	2	1	0	0	1	3	7	0.1%
粗暴行為	1	27	55	95	5	1	40	27	251	2.7%
刃物等所持	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0.0%
金品不正要求	0	0	2	2	0	0	2	0	6	0.1%
金品持ち出し	0	4	6	1	0	0	1	0	12	0.1%
性的いたづら	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.0%
暴走行為	0	0	11	69	3	1	14	13	111	1.2%
家出	0	9	52	52	2	0	9	12	136	1.4%
無断外泊	0	1	14	27	1	2	5	4	54	0.6%
深夜はいがい	0	11	296	2,984	826	489	1,552	763	6,921	73.2%
怠学	-	12	48	26	1	0	-	-	87	0.9%
不健全性的行為	0	0	4	10	0	2	0	1	17	0.2%
不良交友	0	0	0	2	0	0	1	0	3	0.0%
不健全娯楽	0	13	68	73	0	4	4	4	166	1.8%
総数	1	78	619	4,028	920	571	2,163	1,075	9,455	-
構成比	0.0%	0.8%	6.5%	42.6%	9.7%	6.0%	22.9%	11.4%	-	-